

平成 21 年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・いもち病（No. 3）

平成 21 年 7 月 29 日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

7 月下旬現在、穂いもちの伝染源となる葉いもちの発生が、山間地～中間地の一部で認められている。今後、葉いもちの発生拡大が予想されることから、穂いもち防除の徹底が必要である。

2 葉いもちの発生状況など

- (1) 7 月下旬現在（調査途中）、穂いもちの伝染源となる葉いもちの発生が、山間地～中間地の一部で認められている。現時点では、発生の地域間差、ほ場間差が大きく、一部で感染力の強い急性型病斑が散見されるほ場も認められている。
- (2) プラスタム（いもち病発生予察システム）による葉いもちの感染好適日、準感染好適日は 7 月 1～5 日、9 日、21 日、22 日、25 日に 3～8 地点で断続的に出現している（表 1）。
- (3) 7 月 24 日発表の向こう 1 か月の気象予報から、平年に比べて穂いもちが発生しやすい条件となるものと予想される。

なお、7 月 28 日発表の向こう 1 週間の気象予報によると、期間の前半は雨の降る日があると見込まれているため、特に葉いもちの発生が見られている山間地～中間地では、今後の発生増加に注意し、穂いもち防除の徹底が必要である。

3 防除上注意すべき事項

(1) 葉いもち

- ・長期効果持続型の育苗箱施用剤が広く使用されているが、薬効が切れる時期となっていることから、ほ場の観察を徹底し、早期発見に努める。特に例年発生が多い山間地などでは注意する。
- ・上位葉に急性型病斑がみられるようであれば、直ちに表 2 に示す粉剤や水和剤（治療剤あるいは予防・治療剤）を散布する。なお、発生が少なく、慢性型病斑が主体の場合は、予防剤のみの散布も有効である。
- ・表 2 に示す粉剤、水和剤の効果の持続期間は 7 日間程度であり、病勢が進展するようであれば、追加防除を行う。
- ・慢性型病斑でも降雨が続くようであれば孢子形成するので、ほ場を定期的に観察し対応する。
- ・降雨が続く場合は、初期防除を失しないように雨の止み間をみて防除を行う。この場合、散布後、3 時間程度経過すれば、降雨の影響は少ない。

(2) 穂いもち

- ・穂いもちが発生してからの防除は困難であるため、葉いもちを抑制するとともに（上位葉での葉いもちの発生と、穂いもちの発生は密接に関係している）、穂ばらみ期及び穂揃い期の 2 回、粉剤又は水和剤防除（表 2）により被害を未然に防ぐ。なお、葉いもちが発生している地域では、防除薬剤は予防・治療剤を用いることが望ましい。
- ・本年は、フタオビコヤガの発生が多く、注意報が発表されている。本種と穂いもちの防除適期が一致する場合は、殺虫殺菌混合剤による穂ばらみ期防除が可能である。しかし、フタオビコヤガの防除が穂ばらみ期前に必要な場合は、本種のみ

を対象として防除を行う。

- ・降雨が続く場合は、葉いもちと同様に、雨の止み間をみて防除を行う。
- ・粒剤を使用する場合は、各薬剤の使用基準を確認して、出穂前の所定期間に湛水散布する。なお、湛水散布に当たっては、各農薬のラベルに記載されている止水に関する注意事項などを確認するとともに、止水期間を1週間程度とし、農薬の流出防止に努める。

表1 プラストムによる感染好適日の出現状況

日付	鳥取	岩井	青谷	智頭	倉吉	米子	下市	境	茶屋
7/1			-		-	-	-	-	-
7/2	-	-	-			-			
7/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/4		-		-				-	-
7/5	-				-	-	-	-	-
7/6	-	-	-		-	-	-	-	-
7/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/9	-				-	-	-		-
7/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/21					-				
7/22	-	-		-	-	-		-	
7/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/25	-				-	-			-
7/26		-			-	-	-	-	-
7/27	-	-	-		-	-	-	-	-
7/28	-	-	-	-		-	-	-	-

注) 感染好適日、準感染好適日

表2 いもち病防除薬剤(地上散布)

		用途など	薬剤名
葉いもち	粉剤又は水和剤	予防剤	ピーム粉剤DL、ピームゾル ラブサイド粉剤DL、ラブサイドフロアブル など
		治療剤	カスミン粉剤DL、カスミン液剤 など
		予防・治療剤	カスラブサイド粉剤DL、カスラブサイド粉剤3DL ノンプラス粉剤DL、ノンプラスフロアブル ブラシン粉剤DL、ブラシン水和剤、ブラシンフロアブル ラテラ粉剤DL など
穂いもち	粉剤又は水和剤	上述の葉いもち防除剤あるいはこれらを含む混合剤を使用する。	
	粒剤	予防剤	嵐粒剤 イモチエース粒剤 イモチミン粒剤 コラトップ粒剤5、コラトップ1キロ粒剤12 など